

## 収益性分析の視点

収益性を分析するための、基本的な視点を解説するためのシートです。OHPシートまたは手配りシートとして、活用してください。

### ● インストラクション手順例

1) (OHP またはシートを参照しながら)

2) (解説例)

「収益性とは、投入した資本に対してどの程度利益を生み出しているか、ということ。」

収益性の総合的な指標は「資本利益率」で表されます。これはつまり「いくらかけてどれだけ儲けたのか」という指標で、高いほど業績が良いことを示します。

「資本利益率」はさらに、「売上高利益率」と「資本回転率」に分解することができます。

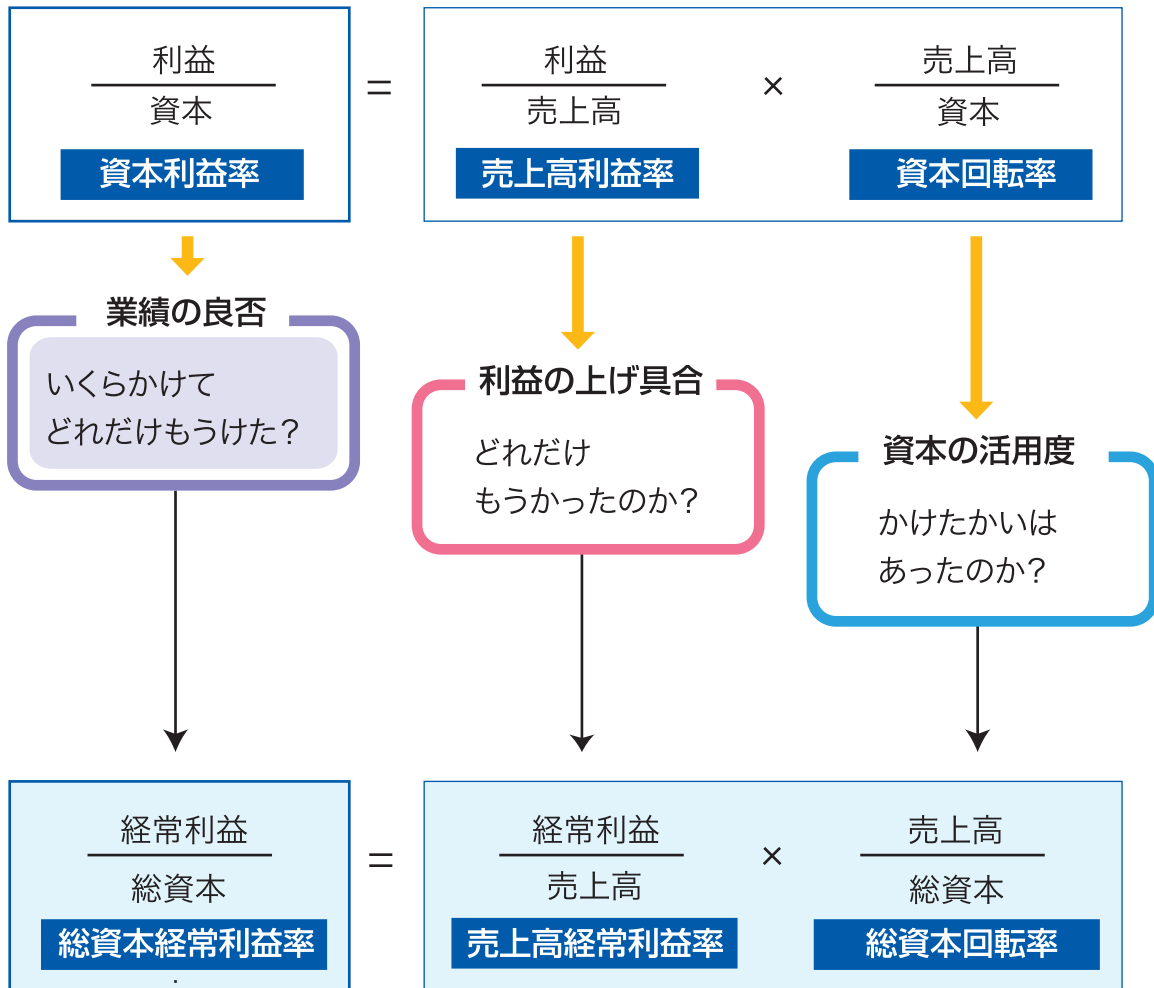
「売上高利益率」とは利益の上げ具合を、「資本回転率」は資本の活用度を表します。

さて、「利益」といっても捉え方はいくつかありますが、会社の経常的な活動における利益を表すのは「経常利益」です。ですから、それを総資本で割った値、つまり「総資本経常利益率」が、会社全体のそもそもの業績を表す最も重要な指標といえます。

これは、さらに、「売上高計上利益率」と「総資本回転率」とに分解されます。

\*以下、必要に応じて『補足資料：収益性分析の展開図』を参照

## ■ 収益性分析のための 3 つの指標



\*会社全体の経常的な活動における収益性

■ 補足資料：収益性分析の展開図

